

令和6年度 第2回船橋市スポーツ推進審議会議事録

- 1 日程 令和6年8月29日（木曜日）午後3時～午後4時30分
- 2 会場 市役所本庁舎7階 教育委員室
- 3 出席者
  - (1) 委員（敬称略）  
山崎 幸男、渡邊 千代美、高橋 和宏、野口 俊光、谷藤 千香、鶴見 修治、中島 ミヤ子、  
文川 和雄、松本 英一
  - (2) 事務局（生涯スポーツ課）  
石山課長、松下課長補佐、原田スポーツ振興係長、行木主任主事、湯浅主任主事、肥田主事
- 4 欠席者
  - (1) 委員（敬称略）  
室田 智
- 5 議題等
  - (1) 会長及び副会長の選出（互選）について
  - (2) 令和6年度スポーツ関係団体補助金について
  - (3) 第二次船橋市生涯スポーツ推進計画令和5年度進捗状況について
  - (4) 令和9年度全国高等学校総合体育大会について
  - (5) 令和6年度体力・運動能力調査について
  - (6) 令和6年度マラソン・駅伝大会について
  - (7) 船橋市特別功労表彰について
- 6 議事録  
以下のとおり

司会	本日出席の委員は9名でございますので、船橋市スポーツ推進審議会条例第5条第2項の「審議会は委員の半数以上の出席をもって開催すること」を満たし、会議が開催できることをご報告します。 また、本日の会議は公開となっておりますが、傍聴者はございません。 これより議事に入ります。 船橋市スポーツ推進審議会条例第4条第1項「審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。」との規定がございますが、現在選出されておられません。 事務局からの提案ではございますが、会長・副会長が選出されるまでの間、事務局で仮議長を担当させて頂き、決定いたしましたら、新会長に議長として議事の進行をお願いするという方法を探らせて頂ければと思います。いかがでしょうか。
各委員	異議なし。
司会	ありがとうございます。

	<p>それでは、生涯スポーツ課長の石山が仮の議長を務めさせていただきます。</p>
仮議長	<p>仮議長を務めさせていただきます、生涯スポーツ課長の石山でございます。よろしくお願いいたします。 まず、【議題1 会長及び副会長の選出（互選）について】、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>船橋市スポーツ推進審議会条例第4条第1項「審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。」ことになっております。会長・副会長の選出につきまして、どなたかご意見がございましたらお願いいたします。</p>
野口委員	<p>前回会長である山崎委員と同じく前回副会長の渡邊委員を推薦したい。</p>
仮議長	<p>ただ今、山崎委員を会長に、渡邊委員を副会長に推薦するご意見がありました。ほかにご意見はございますか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
仮議長	<p>それでは、山崎委員を会長に、渡邊委員を副会長に選出することとさせていただきます。 山崎委員、渡邊委員よろしくお願いいたします。 山崎委員は議長席の方へ移動していただきまして、改めて一言ご挨拶をお願いいたします。</p>
山崎委員	<p>改めましてこんにちは。ご指名いただきました、スポーツ協会会長の山崎でございます。昨年度に引き続き会長をご指名いただきまして、誠にありがとうございます。微力ではございますが、議事が円滑に進行出来るように努めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。以上でございます。</p>
仮議長	<p>ありがとうございました。 続きまして渡邊委員をお願いいたします。</p>
渡邊委員	<p>昨年度に引き続き副会長となりました、渡邊でございます。会長を補佐していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
仮議長	<p>ありがとうございました。 それでは、船橋市スポーツ推進審議会条例第5条第1項の規定により、「会長が議長となり議事を整理する」こととなっておりますので、今後の議事進行につきましては、山崎会長にお願いいたします。山崎会長、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>かしこまりました。議長を務めます山崎です。よろしくお願いいたします。 それでは、議事に従いまして、進行いたします。 【議題2 令和6年度スポーツ関係団体補助金について】です。事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局でございます。 議題2「令和6年度スポーツ関係団体補助金について」ご説明いたします。 資料は会議資料1ページの一覧表、別冊1に各団体からの補助金申請書、別冊2が補助金交付要綱とな</p>

	<p>っております。</p> <p>本日ご審議いただく補助金は「船橋市地域スポーツ推進事業補助金」で、補助対象団体は「各地区の町会・自治会連絡協議会」及び「船橋市スポーツと健康を推進する会」です。この補助金は、スポーツに関する事業をとおして、地域の交流を深めたり、コミュニティづくりに役立てたりすることを目的とする事業に交付しております。会議資料の1ページをご覧ください。申請団体及び申請件数は14件となっております。表の左から6列目に「補助対象経費」がございます。補助対象経費は各申請団体における予算の支出の総額から「食糧費」や「会議費」など、補助対象外となる経費を除外した金額です。補助金の額は、この補助対象経費に3分の2を乗じた額の100円未満を切り捨てとし、上限額は30万円としており、いずれの団体も申請額は規定以内となっております。なお、補足の情報ではございますが、4月に行われました第1回審議会におきまして同補助金について2件ご審議いただいております。令和6年度はあわせて16団体、16件の申請となりました。以上、14件の補助金について、交付決定としてよろしいか、ご審議をお願いいたします。</p>
議長	<p>ただいま、説明があった件ですが、資料に1～14までの団体の一覧表がございます。</p> <p>その詳細は別冊1で各委員には事前に送付されておりますが、まだお読みでない方もおられるかと思われます。この14件につきまして事務局で調査を行い、審査結果は全団体適正となっております。資料をご覧ください、皆様で何かご質問がございましたらお願いしたいと思います。最初は1番の習志野台・西習志野地区自治会連合協議会から7番の豊富地区連合町会までご意見がございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。何か質問等ございましたらお願いいたします。</p>
野口委員	<p>14ページについてお伺いいたします。イベントや大会時の個人情報の取り扱いをどのように指導しているか確認したい。八木が谷地区では、参加申込に際し性別、氏名、年齢、住所、電話番号、会員、非会員を記載するようにしている。そこまで個人情報を求めているのか。</p>
事務局	<p>事務局でございます。個人情報の取り扱いについては、生涯スポーツ課から指導しておりません。大会やイベントによって必要とする個人情報は異なるため、各地区で必要な情報を収集していると認識しております。</p>
野口委員	<p>個人が特定されることにつながりますので、交付決定の際などに個人情報の取り扱いは行政のガイドラインに沿って収集するなど指導すべきではないかと考えます。</p>
事務局	<p>事務局でございます。いただいたご意見は今後検討していきます。個人情報の収集にあたっては目的外に使用しない、収集は必要最低限にするように案内するなどを検討します。</p>
議長	<p>野口委員よろしいでしょうか。</p>
野口委員	<p>異議なし。</p>
議長	<p>私からの質問となりますが、本町地区連合町会について、令和5年度と6年度で大きく変わらないように見えますが、補助金の申請額が100,000円から206,000円に増加しております。増加理由はございますか。</p>
事務局	<p>事務局でございます。令和5年度に受けている市のスポーツ推進事業補助金の額と令和6年度に受けて</p>

	<p>いる推進スポーツ推進事業補助金が倍程度変わっているのはなぜかというご質問でございましたが、この中身につきまして本町地区まで確認を取っておりません。要綱等で照らし合わせた結果、金額面に関しては問題なかったというところでございます。</p>
議長	<p>他の団体は変更がない中で倍になっているので、理由を確認したかったところです。 他にございますか。他に意見がなければ、1番から7番につきましては承認でよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
議長	<p>ありがとうございます。続きまして8番の大穴地区町会自治会連合会から14番の船橋市スポーツと健康を推進する会までご意見がありましたらお願いいたします。</p>
野口委員	<p>38ページについてお伺いいたします。本中山地区の事業計画書ですが、主管に船橋市教育委員会生涯スポーツ課と記載がありますが、それでよろしいでしょうか。よろしいのであれば我々も記載したい。</p>
事務局	<p>事務局でございます。おそらく生涯スポーツ課の名前があると信頼が得られるからという意図かと思いますが、この場でお答えは難しいので確認します。</p>
渡邊委員	<p>おそらく後援ということだが、後援の記載は船橋市教育委員会までで、課名まではないのではないかと。</p>
事務局	<p>事務局でございます。主管となると実際に事務を行う意味となるが、生涯スポーツ課や教育委員会が直接的にやることはありません。また、共催や後援に船橋市教育委員会が入ることはあるが、生涯スポーツ課が入ることはありません。</p>
渡邊委員	<p>おっしゃるとおり、後援であれば問題ないかと思われる。</p>
議長	<p>該当部分は訂正いただけますか。</p>
事務局	<p>承知いたしました。</p>
議長	<p>野口委員よろしいでしょうか。</p>
野口委員	<p>異議なし。</p>
議長	<p>他にございますか。他に意見がなければ、8番から14番についても承認させていただきたいと思いますが、議題2の「令和6年度スポーツ関係団体補助金について」を承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
議長	<p>ありがとうございます。続きまして【議題3 第二次船橋市生涯スポーツ推進計画令和5年度進捗状況について】です。事務局より説明をお願いいたします。</p>

事務局	<p>事務局でございます。</p> <p>議題2「第二次船橋市生涯スポーツ推進計画 令和5年度進捗状況について」です。資料は、会議資料3ページと別冊3となります。会議資料3ページをご覧ください。</p> <p>令和4年3月に、令和4年度から令和8年度を計画期間とした「第二次船橋市生涯スポーツ推進計画」をスポーツ推進審議会にもご意見をいただきながら策定いたしました。</p> <p>計画は、スポーツ基本法に基づき、国の「スポーツ基本計画」及び県の「千葉県体育・スポーツ推進計画」を参酌するとともに、船橋市の他計画との連携・整合を図りながら、船橋市の状況を踏まえ、市民のスポーツ活動を推進するためと位置付けているものでございます。第二次計画では、新型コロナウイルス感染症などの不測の事態の発生により、取り組むべき事業の優先順位の変更や、新たな事業の追加などが生じることなどに、柔軟に対応していくため、計画内には各施策に対応する事業の位置づけは行わず、「各施策対応事業管理表」を作成し管理することといたしました。そのため、計画全体の進捗状況を毎年点検することを目的として、基本施策1～3のそれぞれに毎年測定が可能な指標とその方向性を設定し、その結果をスポーツ推進審議会に報告することとしております。</p> <p>また、「各施策対応事業管理表」についても、スポーツ推進審議会に報告し、意見聴取の結果を事業所管課にフィードバックするとともに、指摘・提案事項等に基づいて管理表を更新することとしております。</p> <p>会議資料「2. 指標の報告」をご覧ください。上から順に、基本施策1～3の指標とその方向性及び令和5年度の実績についてご報告いたします。令和3年度については計画期間外ですが、参考として掲載しているものです。まず、基本施策1の機会づくりです。指標名は「市主催事業の参加者数」、方向性は向上させると位置付けております。令和5年度の数値が、128,456人となりました。こちらの数値は、スポーツ教室、市民体育大会、マラソン・駅伝3大会などの参加者の合計です。なお、令和4年度の数値が、120,154人でした。令和4年度からの増加理由としましては、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、参加者が増えたことが要因と考えます。特筆して大きかった令和3年度からの増加理由としましては、市の直営により実施していた「スポーツ教室」が、令和4年度から運動公園等の指定管理者に移行したことによるものです。引き続き、事業の周知等を行い、参加者等の増加を図っていきたいと考えております。</p> <p>次に 基本施策2 環境づくりです。指標名は、「市体育施設の利用者数」、方向性は向上させると位置付けております。令和5年度の数値が、2,555,532人となりました。こちらの数値は、運動公園などの体育施設の利用者数と学校体育施設の開放で小中学校の体育館やグラウンドなどを利用した人数となっております。なお、令和4年度の数値が、2,215,559人でした。令和4年度からの増加理由としましては、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、参加者が増えたことが要因と考えます。令和3年度からの増加理由としましては、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や利用制限が解消されたものでございます。引き続き、事業の周知等を行い、参加者等の増加を図っていきたいと考えております。</p> <p>最後に、基本施策3 人・組織づくりです。一つ目の指標「スポーツ関係団体の団体数・会員数」、二つ目が「地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数」でいずれも方向性は向上させるです。「スポーツ関係団体の団体数・会員数」の令和5年度の数値が、65団体34,528人となりました。団体の内訳は、市スポーツ協会、市スポーツ推進委員協議会、市スポーツと健康を推進する会、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体です。令和4年度からの減少理由としましては、新型コロナウイルス感染症の感染期間中に活動が縮小された競技団体もあったことが要因と考えます。令和3年度から令和4年度にかけては、全体の会員数が微増したところですが、昨年度に会員が減少傾向にある旨聞いていたところ、やはり全体の会員数減少に影響がでました。より一層、スポーツ活動の推進や普及・啓発に注力し、会員の増加を図っていきたいと考えております。二つ目の指標「地域住民との連携・協</p>
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>働により行った事業の実施回数」です。令和5年度の数値が、379回となりました。こちらの数値は、スポーツ推進委員が行う事業や、教育委員会が後援・共催するスポーツ関係事業の実施回数となっております。令和4年度からの増加理由としましては、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、参加者が増えたことが要因と考えます。引き続き、事業の周知等を行い、参加者等の増加を図っていきたくと考えております。以上が指標の報告となります。</p> <p>続きまして、3. 各施策対応事業管理表の報告です。資料は別冊3をご覧ください。1枚目は、各施策対応事業管理表の毎年測定指標にかかる実績値、事業数、目標達成状況をまとめたものとなります。1つ目の項目は、先ほどご説明させていただいた実績値になります。2つ目の項目は、毎年点検事業数等の報告となります。令和5年度は、全事業89事業のうち、毎年点検事業36、毎年点検事業のうち測定指標がある事業が29ございました。3つ目の項目は、毎年点検事業のうち測定指標の目標達成状況となります。令和5年度は、測定指標29事業のうち、目標の方向性を向上させるとしたものが14、変化なしとしたものが15ございます。このうち、目標の方向性以上の実績をあげられた事業が20あり、割合としては約7割となりました。続いて、2枚目以降は、各施策対応事業管理表になります。管理表は左から順に、計画に位置付けている「施策」、「取組名」があり、その右側の青色の部分、それぞれの取組みに位置付ける事業に関して掲載されています。事業の右側、うすピンク色の部分、「毎年点検事業」があり、こちらに黒丸がつく事業は、毎年点検を行います。次に「毎年測定指標」があり、①から④の数字が入力されております。①から④の数字の説明は、表上部のコメント「毎年測定指標」に記載しております。続いて、表の緑色の部分が、令和3年度参考数値と令和4年度数値があり、黄色の部分、令和5年度数値と実績に関する所感、その右側に来年度の方向性が記載されております。最後に、昨年度スポーツ推進審議会でお見せした管理表との変更点につきまして、ご説明いたします。まず、全体を確認することができるように1枚目のおりまとめシートを添付いたしました。次に、令和5年度の管理表であることを明確化するため、令和6年3月31日時点と記載しました。最後に、管理表シートに新規事業として政策企画課所管の「プロ・企業スポーツ連携推進事業」を掲載しました。基本施策1 施策番号1 取組番号2 プロスポーツチームと連携したスポーツの魅力発信 及び 基本施策2 施策番号2 取組番号2 スポーツの魅力発信 への掲載となります。取組内容としましては、プロ・企業スポーツチーム及び関係機関と連携し、交流・関係人口の創出、地域・経済の活性化を推進するため、(仮称)プロ・企業スポーツチーム連携推進委員会を設立し、イベントやシティプロモーション等を行うことです。本事業につきましては、前回の審議会で、政策企画課長の松本委員からご説明いただいているため、すでにご承知いただいているものと理解しています。最後に、現時点の来年度(令和6年度)の方向性についてご説明いたします。毎年点検事業は現時点で全89事業のうち36事業ございます。そのうち、測定指標のあるものが29事業です。点検指標について、来年度の目標区分「向上させる」が15事業、「現状維持」が14事業となっております。</p> <p>ご説明が長くなりましたが、以上、毎年測定指標と各施策対応事業管理表についてご意見いただきますようお願いいたします。</p>
議長	ありがとうございます。ただいま、説明があった件ですが、何か質問等ございましたらお願いいたします。
谷藤委員	進行表を作成していることにより、分かりやすくてよいと考える。
渡邊委員	よろしいでしょうか。松本委員に仮称のプロ・企業スポーツ連携推進事業の進捗状況について、お伺いいたします。

松本委員	ご質問について、説明いたします。資料が令和6年の3月31日時点のため仮称でしたが、4月24日に実行委員会を設立しました。名称はプロスポーツ等連携推進委員会とし、委員会は市長を委員長として、市内で活動しているプロ企業スポーツの千葉ジェッツふなばしとクボタスピアーズにオブザーバーで参加していただき、スポーツ関係の団体や、自連協の方、経済界の方を委員として実行委員会を設立しました。現状は、第1回設立総会と第1回総会を行った状況で、9月の初旬に第2回総会を予定しております。1回目の総会では千葉ジェッツふなばしが優勝した時のパレードを事業として、第1回総会の議題としました。9月の総会では、対象としているチームがバスケットボールとラグビーということで、シーズンが10月、12月から始まりますが、シーズンの開始に向けてどういったイベントを企画していくかを第2回総会の議題とする予定です。総会前のため内容をご紹介出来ませんが、市内の商業施設等に例えばパブリックビューイングを行い、試合会場まで見に行けない方に試合を見ていただけるような事業を1つの案として考えております。
議長	他に意見はございますか。
野口委員	総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会は加盟団体数が変わっていないが、加盟人数が減少している。代わりに、個人での体育施設の利用者数は増加している。行政側はその点をどのように考えるか。
事務局	事務局でございます。体育施設の利用がしやすいようシステムを導入し、インターネットでも簡単に予約や抽選申込などが出来る環境づくりにより、個人利用者が増えたと考えています。また、団体の構成員については、事務局で確認する限りだと団体の高齢化により、若い構成員が加入しないという話を聞いておりますので、各団体と意見交換しながら加入者増を目指していければと考えております。
議長	野口委員よろしいでしょうか。
野口委員	異議なし。
議長	他に意見はございますか。
渡邊委員	総合型地域スポーツクラブについて、増加を目指しながら地域スポーツの在り方を考えていくという話があったかと思うが、現状も4団体しかないのか。話し合う機会もないのか。
事務局	事務局でございます。総合型地域スポーツクラブについて、現状は4団体です。以前は5団体であったが、活動が継続できないため解散したと確認しています。また、年に1回総会が開かれ、4団体が集まって話し合いの場を設けています。4団体の間では、意見交換や情報共有が出来ていると考えているが、新規という部分だとなかなか担い手が見つからないことから、4団体から増えていない現状です。
渡邊委員	4団体の活動は拡張しているのか。どういった活動を展開しながら地域住民に活動を知らせているのか変化が見えてこない。
事務局	総合型地域スポーツクラブになりますと、1つの種目ではなくて様々な種目を実施する団体になると考えられます。大穴だと自連協が母体となっており、かなり組織的にたくさんの方の事業を実施していると聞いております。また、八木が谷も自連協が母体となっているが、参加者や運営者も高齢化がすすんで新規加入者が増えないことが悩みであるとも聞いています。他には、薬台公園を中心にラジオ体

	<p>操などをやっているやくみんは、朝ラジオ体操を行い、その後お茶を飲みながら意見交換をして現状維持をしている旨を聞いています。最後はNPO法人のあまなつだが、法人化しているため、参加者から参加費を徴収して講師の謝礼などにあてながら、船橋アリーナや松が丘・習志野台・坪井公民館を会場に事業を実施し、安定して運営していると思われます。</p>
議長	<p>中島委員から意見はございますか。</p>
中島委員	<p>総合型地域スポーツクラブに関わるものとして、意見がありましたとおり、大穴スポーツクラブは団体数が増えているものの、サークル会員数が減少しているのが一番の問題になっております。小学生や中学生、高校生までも含めて若い人達がどのように地域に関わってくれるかを考えているが、運営は素人でやっているためそこまでいかないのが現状だが、考え方の一つとして、何歳になっても関われる地域を提供していくことが必要と考えている。以前も三山と法典で総合型地域スポーツクラブを立ち上げるということで会議を開いたという話は聞いてます。しかしながら、地域の協力が得られなかったことにより立ち上げることが出来なかった。ただ、我々は作った以上は一生懸命やっているが、これ以上広がらないというのはどこかが中心になって、市内に広げて行く体制を取らないと難しいと感じている。個人的な意見というわけではないが、船橋のスポーツや総合型地域スポーツクラブは地域の事情にあった内容でやっていることから、地域の事情を一番知っているスポーツ推進委員が全地域にいるため、地域にあったスポーツのあり方を考えて広めていくような活動はどうか。日頃の事業が多くて手が回らないのが実情かと思われるが、スポーツ推進委員では地域でそういった活動を考えておりますでしょうか。</p>
渡邊委員	<p>過去に総合型地域スポーツクラブを立ち上げる時は、スポーツ推進委員が中心で立ち上げて下さいといった話があった。大穴や、あまなつはスポーツ推進委員が中心で立ち上げていた。色々連携を取って行く中で、最初に会費の問題といったところが出てきたりして立ち上げるまでいかず、町会などがバックアップしてようやく現状がある。そのため、そういった実情を知っているスポーツ推進委員が総合型地域スポーツクラブを立ち上げた後はやめてもいいが、立ち上げるまではいろんな事情を踏まえた中で増やしていくというようなことを考えているところかと思います。しかしながら、立ち上げて話し合いまでたどり着いても、話し合いの中で色々な意見が出てしまうことでまとめることが出来ず、今まで法典と三山で話し合いがあった中で立ち上げ前に終わってしまった。ただ、今は高齢化社会で100年時代と言われておりますので、遠くの施設に行かずに地域でスポーツが出来る環境づくりが大事ということから、総合型地域スポーツクラブはよい機会になると考えている。だからこそ、10年、20年近く拡張できていないと感じているとはいえ、この総合型地域スポーツクラブは地域の中にあるスポーツ団体と考えている一人の意見でございます。</p>
議長	<p>大事な問題ですので、また別の機会に意見を伺いたいと考えております。他に意見はございますか。</p>
野口委員	<p>若年層からスポーツの動向を調査しているか。併せて、例えば今年はオリンピックでクライミングなど様々な種目があったわけだが、スポーツ人口を増やすためには、若年層に意見を聞き、多様性のあるスポーツを取り入れていく方向に進めないとスポーツ人口が増えていかないと考えるが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局でございます。生涯スポーツ推進計画を策定するにはアンケートを実施しているため、その中で若年層に意見を聞いています。アンケートの中でどのようなスポーツを行っているかを聞いているところで、そういったところでニーズや動向を把握して、こういった種目の人気があるか等を注視しながら</p>



	ら、若年層のスポーツの活性化につながるか調査研究していきたいと考えています。また、新しい競技がオリンピックでも盛り上がっておりますので、様々な方のご意見を伺いながら検討していければと考えております。以上でございます。
議長	スポーツ協会もコロナの影響で会員数が減ったり、スポーツ離れした時期があったが、少し回復傾向にある。スポーツ協会関係の団体はもちろんのこと、各団体にてスポーツの普及の取り組みに基本から戻ってやり直そうという機運がございます。コロナの影響は強く、スポーツをやめた方なども多い。そういった状況の中、コロナが5類になってから大会の開催数も増えておりますので、加盟団体やスポーツに関わる人たちを今一度受け入れる時期かと思っておりますので、取り組んでいければと考える。この問題はどこがやるとかではなく、スポーツに関わる全団体が取り組むことが重要であるとする。野口委員よろしいでしょうか。
野口委員	異議なし。
議長	他に意見はございますか。それでは議題3「第二次船橋市生涯スポーツ推進計画 令和5年度進捗状況について」を承認することとしてよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
議長	ありがとうございます。議題が終了しましたので、報告事項に移ります。事務局より報告事項がありましたら説明をお願いいたします。
事務局	事務局でございます。事務局より報告事項が4件ございますので、それぞれ担当よりご説明いたします。1つ目は令和9年度全国高等学校総合体育大会に関することでございます。会議資料は5ページでございます。千葉県教育庁より、令和9年度に千葉県・東京都・神奈川県・山梨県の南関東ブロック1都3県で開催される全国高等学校総合体育大会の競技会場が決定し、令和6年6月21日（金）に報道発表がなされました。本市では、「剣道」及び「フェンシング」が『船橋アリーナ（船橋市総合体育館）』を競技会場とし、開催されることとなりました。なお、大会期間は、令和9年7月下旬から8月下旬の間において、1種目4～5日を予定しております。大会期間中は皆様方にもお力添えいただきながら大会を安全に開催できるよう事務をすすめてまいります。以上でございます。
事務局	2つ目は令和6年度体力・運動能力調査に関することでございます。会議資料は7ページをご覧ください。スポーツ庁では、国民の体力・運動能力の現状を把握するため、昭和39年度より毎年体力・運動能力調査を実施し、調査で得た情報を体育・スポーツ活動の資料、行政上の基礎資料として広く活用しております。本調査の実施にあたり、千葉県においては、成人及び高齢者を対象に調査を実施する市町村を地域ごとに輪番制で決めており、今年度の葛南地域では、船橋市が担当として実施することになっております。本市では7ページの会議資料に記載されているとおり、船橋市スポーツ推進委員協議会に全面的にご協力いただき、令和6年10月14日に船橋市運動公園体育館にて実施を予定していることをご報告いたします。以上でございます。
事務局	3つ目は令和6年度マラソン・駅伝大会に関することでございます。会議資料は9ページをご覧ください。例年11月から2月にかけて開催しております「市民マラソン大会」「成人の日記念市民駅伝競走大会」「小学生・女子駅伝競走大会」の3大会の令和6年度の開催につきましては、船橋市陸上競技協

	<p>会や市内スポーツ団体等で構成される主催団体である船橋市マラソン・駅伝実行委員会により、本年10月中旬から7年3月にかけて行われる陸上競技場大規模改修工事に伴い、安全に開催できるコースの確保が難しいことなどから「中止」との判断がなされましたため、今年度の開催は中止することとなりましたことをご報告申し上げます。実行委員会では開催に向けて、会場や日時の変更、コースの見直しなど、でき得る限りの対策を協議してまいりましたが、「選手等の安全」という最も重要な点において困難であるとの結論となりました。なお、市民への公表は9月6日に市のホームページなどで行います。また、令和7年度の大会につきましては、開催する予定でございます。以上でございます。</p>
事務局	<p>最後に船橋市特別功労表彰に関することでございます。会議資料は11ページをご覧ください。7月26日から8月11日まで開催されておりましたパリオリンピックの体操競技で金メダルを獲得した萱和磨選手、谷川航選手、橋本大輝選手に、船橋市特別功労表彰を行うこととなりました。9月2日の月曜日に3選手が船橋市役所を訪問します。今回の功労表彰は、オリンピックという大きな舞台で自身の実力を発揮し、市民に大きな感動を与えてくれたことを称えるものです。報告事項は以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。ただいま、説明があった4件ですが、何か質問等ございましたらお願いいたします。</p>
高橋委員	<p>小中学校体育連盟は小学生・中学生のスポーツ推進に関わる立場であり、また学校長としてこの市民マラソン、成人の日駅伝、小学生・女子駅伝の中止について、企画運営する側の立場としては安全面を考えて中止の決定をしたことは理解できるが、その前に広く学校現場や子ども達の意見を聞いてほしかった。というのも、コロナの影響で子ども達の中には無力感がすごく育ってきていて、自分達がいくら頑張っても自分達の手の届かないところで決定されていき、活動の幅が狭まっていることを子どもたちは強く感じている。そういう子ども達が多くなっているというのはスポーツ離れにも繋がってきていると考える。小中学校体育連盟や学校現場の校長会に意見聴取をしていただければ色々な考えが出来ますし、工事をするのは最初から分かっていることです。その中で、もう少し子ども達のために毎年やっていることなので、こういう形なら出来るということを探るといった時間はなかったかと感じている。来年は開催とのことだが、昨年の大会を見て、今年は自分たちの番だと考えている小学校6年生や、中学校2年生や3年生といった来年がないその子達にとって、その1年しかない訳です。その大会が中止になることに関して、実行委員会で子ども達の身になって考えていただきたかったことを痛切に感じているところですので、今後はよろしくお願ひしたいと思います。</p>
議長	<p>事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局でございます。ご意見ありがとうございます。中止の決定をさせていただいたところですが、この大会を楽しみにしたり、大会を目標に頑張ってきました児童・生徒、そして一般市民の方はたくさんいらっしゃる中、中止という判断させていただいたことは非常に心苦しく思っております。高橋委員からもご意見をいただきましたので、次回の大会に繋げればと考えております。以上でございます。</p>
議長	<p>よろしくお願ひいたします。コロナの時も同様ですが、最終学年というのは人生が変わりますので、出来る限り検討していただければと思います。他に意見はございますか。なければ以上で本日の案件はすべて終了しましたが、その他ご質問等ございましたらお願ひいたします。</p>
各委員	<p>意見なし。</p>

議長	他にないため、本日の議事録署名です。事務局で指名する委員2名の選出をお願いいたします。
事務局	事務局でございます。野口委員と渡邊委員にお願いしたいと思います。
議長	お二方はよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
議長	それでは、野口委員と渡邊委員は議事録の署名にご協力をお願いいたします。円滑な議事進行にご協力ありがとうございました。事務局に進行をお返しいたします。
司会	それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回船橋市スポーツ推進審議会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。